

論文概略

論文タイトル	Preliminary performance of a surgically implanted neuroprosthesis for standing and transfers- where do we stand?
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 38 Number 5 Page 609
出版年	2001年

支援機器	Neuro-prosthesis
分類(ISO9999)	9
試験相	2
研究仮説(目的) の概要	脊損による四肢麻痺患者に対し、植え込み型神経代替装置を使用することで起立、異常を容易に することができる。
研究デザイン	対照なしの介入研究
障害・疾患	脊損
対象者・数	障害者 12人
主要アウトカム	ユーザビリティ評価
副次アウトカム1	膝、股関節伸展筋力
副次アウトカム2	トレーニング前後の座圧分布
副次アウトカム3	皮膚酸素分圧
副次アウトカム4	立位荷重分布
副次アウトカム5	リーチ、移動などのパフォーマンス
統計学的検定	無
結果の概要	神経代替装置の植え込みにより、パフォーマンスを向上し、装置の長期的な使用においても問題は生じなかった

論文整理番号 147

※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター